

新城市民病院での研修を終えて

名古屋第一赤十字病院

4週間という短い間でしたが大変お世話になりました。先生方には毎日最後に1日の振り返りの時間を作っていただき、患者さん1人1人の治療方針や病態の注意点などについて丁寧にご指導いただきました。また、コメディカルの方々には普段の研修中以上にカンファレンスや院外実習などで密に接していただき、今まで気づけていなかった視点から見つめることができました。本当にありがとうございました。

新城市民病院での地域実習が始まる前は、地域医療は患者さんの生活背景などにしっかりと配慮した「人」をしっかりとみる診療というイメージはあるものの、具体的なことはわからず、漠然としたものでした。しかし、4週間と短い期間ではありましたがこの研修で、外来・入院患者さんと接することや、作手診療所・しんしろ助産所・訪問リハビリといった院外での研修を終えて、「人」を診るといことがどんなものであるのか、少しずつ理解できるようになれたと思います。患者さんの生活状況として、何人暮らしであるのか、手伝いに来てくれるご家族が近くにいるのか、家から病院までのアクセスはどのようなものかなど様々な情報が大切であるということに気づくことができました。退院するにあたって自宅に戻ることができるのか、施設入所となるのか、介護保険の申請はどうなっているのかなど今までの研修では目を向けていなかった部分にもしっかりと勉強することができました。

また、新城市民病院は東三河北部の基幹病院であることから、遠くから何とか病院にやってきた重症の患者さんもおり、限られた状況の中で患者さんに最大限の治療をするにはどのようにすればよいか、今まで以上に考えることができました。

診療所でも、採血結果はすぐに出ない、CT・MRIの検査はすぐにはできないというような状況で、その中でも軽症・重症、すぐに基幹病院に紹介・転送した方がよいのか判断するためいかに問診・身体診察が大切かを学ぶことができました。今までの自分は検査・画像所見に頼りすぎてしまい患者さん本人の細かい訴えに気が回っていなかったように感じます。

病院研修以外でも、市内のおいしい飲食店を教えていただいたり、花火大会といった地域の行事にも参加することができ、とても貴重な時間を過ごすことができました。

あっという間ではありましたが新城市民病院で研修したこの経験を活かし、今後努力していきたいと思います。

慣れない中気づかないうちにご迷惑をかけてしまっていた部分はたくさんあるとは思いますが、その中でも暖かく迎えて対応いただいた皆様には感謝いたします。4週間ありがとうございました。